

大中校区小中一貫教育たより④

1 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と一体化した小中一貫教育

9月24日（水）、紫塚小学校で「大田原中学校区第2回学校運営協議会」が行われました。授業参観を通して、紫塚小児童の生き生きと活動する様子と共に、小中一貫教育「大田原中教員による乗り入れ授業（6年1組：理科）」の様子も見ていただき、取組の様子を共有しました。

各校の校長より児童・生徒の活躍や教育活動の進捗状況について報告を行った後、各グループに分かれて「地域と学校の連携」等をテーマに協議を行いました。令和7年度の委員を紹介します。



<敬称略>

1	郡司 祥久	西原小学校長	10	浅羽 一裕	西原小学校教頭
2	小室 和徳	紫塚小学校長	11	荒井 佳子	紫塚小学校教頭
3	明澤 伸宏	大田原中学校長	12	市瀬 稔	大田原中学校教頭
4	田辺 剛	西原小学校PTA会長	13	猪瀬 孝一	大田原西部地区主任児童委員
5	猪瀬 務	紫塚小学校PTA会長	14	大槻 睦美	大田原西部地区主任児童委員
6	松本 武久	大田原中学校PTA会長	15	大久保優子	大田原西地区公民館長
7	室井 敏雄	西原小学校 地域学校協働活動推進員	16	岡田 雅俊	紫塚地区社会福祉協議会長
8	村山耕太郎	紫塚小学校 地域学校協働活動推進員	17	佐藤 通洋	大田原西部地区有識者
9	越井 二郎	大田原中学校 地域学校協働活動推進員	18	藤田 善一	大田原西部地区有識者

2 大田原中教員による乗り入れ授業（9/24）の様子



今回は、先日の授業（紫塚小6年2組）に続いて6年1組での授業です。「水溶液」の単元を取り上げた理科の授業で、水溶液の性質や実験器具の安全な取扱いについての内容でした。授業者（大田原中）の「ここは中学校（理科）でも出てくるよ!」という言葉聞いて、子どもたちは一層熱心に耳を傾けていました。学習のつながり（9年間の系統性）を実感することができたと思います。

今日の乗り入れ授業について、それぞれの感想を紹介します。



児童より

- ・ 道具の説明が分かりやすかった。水溶液の危険性について知ることができた。
- ・ ビーカーの持ち方や水の入れ方など、今まで気にしたことがなかったけれど今日の授業を受けて、これから気をつけようと思った。
- ・ 中学校では理科の実験が難しくなったり危険な薬品も扱ったりするので、気をつけて実験したい。実験が楽しみ!
- ・ 中学校の先生は優しいと思った。中学校でも、話をしっかり聞いてがんばりたい。

紫塚小教員より

- ・ 中学校の先生の授業を受けたことで、子どもたちの中学進学への意識が高まった様子が感じられた。
- ・ より専門的な指導を受けることができ、子どもたちは真剣に学習していた。
- ・ 教員としても、中学校での指導を知ることができて有意義であった。

授業者（大田原中教員）より

- ・ 入学前に子どもたちと関わったことは、今後の指導についても大きなヒントとなった。中学校入学後に、また授業を担当するかもしれないと思うととても楽しみ。
- ・ 小学生向けに「丁寧な説明」を心がけたことで、自分でも指導方法等について再確認する機会となった。小学校の先生方の説明の仕方なども参考にしていきたい。